

一人ひとりの夢・思いを大切に

「福祉」しなふくニュース

編集人 しなふくニュース編集委員会 発行人 永田 元
 発行所 品川総合福祉センター 〒140-0003 東京都品川区八潮5-1-1
 電話 03(3790)4839 法人URL <http://www.shinafuku.com> E-mail info@shinafuku.org

謹賀新年



私たちの作品がカレンダーになりました!!

らうんじ



理事長
永田 元

明けましておめでとうございませう。昨年にも新型コロナウイルス

感染症との戦いに追われた一年になりました。ご利用者やご家族の皆様にも多大なご迷惑をおかけしました。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。活気ある社会にしたいものです。今年、当法人は設立四十周年を迎え、現在、全職員が参加して、これまでの四十年を振り返り、その成果と課題を整理して、次の十年間に取り組みべき方向性について検討しております。福祉最近の福祉を取り巻く環境の変化と福祉ニーズの多様化・複雑化への適切な対応、良質な福祉サービスを提供する職員の確保・育成、経営基盤の確立などの多くの課題にしっかりと向き合いたい地域の社会福祉法人品川総合福祉センターとして取り組むべき新たな道筋をお示ししたいと思っております。ほどこよろしくお願ひ申し上げます。

謹賀新年

しなふく40周年を振り返り
明るい未来に向かって



常務理事
小野 孝

あけましておめでとうござ
います。

皆様にはお健やかに新しい
年をお迎えになられたことと
お慶び申し上げます。

品川総合福祉センターは、
本年四月に開設四十周年を迎
えます。

現在、今後十年間の法人運
営の目標と課題を示す「第二
次未来創造図」を策定中です。

この中長期基本方針とそれ
に基づく中期経営計画に従い、
職員が一丸となって新たな事
業、より良いサービスの実現
に取り組んでまいります。

皆様のご支援をよろしくお
願いいたします。



理事
島崎 妙子

謹んで新春のお慶びを申し
上げます。

東京都内で初めて障害者、
高齢者の施設が設立され四十
周年を迎えられたことは一重
に職員の日々の働きのお蔭と
品川区のお力添えの賜ものと
心から感謝申し上げます。

都内にこうした施設がなかつ
た当時、障害者団体で障害者
をかかえる親たちの親亡き後
の「この子らの命を守ってく
ださい」と品川区に何年も請
願し、昭和五十八年、八潮団
地が出来る前にこの都市型複
合施設を建設してくださいま
した。

コロナ禍、職員のご支援の
お蔭で入所の皆様の生活が守
られていることに深く感謝申
し上げる次第です。新たな年
が皆様の良い年でありますよ
うお祈り申し上げます。



理事
犬丸 咲子

明けましておめでとうござ
います。

令和二年に新理事を拝名し
た直後よりコロナ禍の感染が
広まり、世の中が全て変わり
ました。オンラインの活用、
リモートでの仕事など。でも
変わらないものも明確になり
ました。医療はもろんこのこ
と、暮らしに直結した仕事、
福祉の大切さです。

品川総合福祉センターは本
年で四十周年を迎えます。品
川区関係者の皆様のお力添え
で完成いたしました。本当に
おめでとうございます。

そして、ご利用者の協力も
大きな力だと思えますが、コ
ロナ禍の中で日夜懸命に支援
介護して下さる職員の皆様に
本当に頭が下がります。

四十周年にあたり、皆々様
のご健康をお祈りいたします。



理事
大迫 政晴

新年おめでとうございます。
本年が皆様にとつて希望の
持てる飛躍の年となりますよ
う心からお祈り申し上げます。

さて、私たちはコロナ禍で
様々な困難に直面しましたが、
今年はいよいよウィルスと共
存しつつ多くの課題に取り組
むこととなります。法人をめ
ぐる状況は決して生易しいも
のではありませんが、ここは
「一人ひとりの夢や思いを大
切」にし、「生きがいのある
人生を支える」という法人の
原点に立ち返り、法人・職員
が心を合わせ一体となって地
道な取り組みを続けるしかあ
りません。

私も法人の一員として微力
ながら希望を失わず、今年も
しっかりと理事の職責を果たし
て参りたいと思えます。よろ
しくお願いいたします。

新春のお慶びを申し上げます。

当法人が設立四十周年を迎えられるのは、職員の方々の日々の働きの賜ものであり、一理事として、職員の方々の常日頃のご尽力に対し厚く感謝申し上げます。

新米理事の私としては、先輩諸氏からのご指導のもと、微力ではありますが、当法人が多種多様に亘る福祉ニーズに応え得る法人であり続けるべく、当法人の福祉社会における存在価値の維持発展のために尽力していく所存です。本年も、職員の方々、利用者ご家族の方々が健康で心豊かに暮らせる一年となりますことを心からお祈り申し上げます。



理事
鈴木 克己



明けましておめでとうございます。

法人に対し、まことに多くのご厚情をいただき感謝申し上げます。

ここ数年は地域イベントを開催出来ない状況がありました。去る十月二十三日「心のつながり地域とともに二〇二二」では八潮地域を中心に200名を超える方々にご来場いただき、多くの方からセンターへの期待の声をいただきました。

設立、四〇周年を迎え、私どもの活動に対し関心を寄せていただき、また、応援して下さいの皆様のお気持ちに感謝し、これからも皆様の信頼に応えていけるよう頑張りたいと思います。



事務局次長
松木 利彰



明けましておめでとうございます。皆様には健やかに新年をお迎えのことと存じます。

今年品川区の福祉の中心施設として活動してきて40周年を迎えます。活動を支えていただいた関係者の皆様に改めて感謝を申し上げます。

さて、福祉の世界でもICT化やロボットの活用が進むなど、今後、福祉のあり方も大きく変化していくことが想定されます。しかし、福祉の基本はあくまでも人であり、利用者の皆さんに寄り添っていくことの大切さには変わりありません。

引き続き、法人の理念の実現のため、お力添えいただける様お願いするとともに、新しい年が良い年であるようお祈り申し上げます。



監事
西島 信夫



明けましておめでとうございます。

昨今の高齢化社会に於きまして、地域・社会の住民様が求める福祉サービスは、大変重要なものであります。

社会福祉法人品川総合福祉センターは、長年にわたり、その期待と要請に基づき、福祉サービスを挙げております。

新型コロナウイルス感染症の対策を図り、職員同士が協調しながら、障害者等への各種支援、高齢者への介護、児童の保育等、これらが各施設の職員の理解が深まることを厚く期待しております。

皆様にとりまして、新しい年が良い年でありますことを心からお祈り申し上げます。



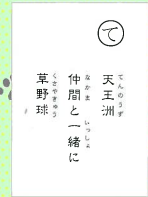
監事
山下 隆



しなぷく

さんぽ vol. 7

品川区の興味深い場所・旬な情報を、編集委員が足を運び取材し、シリーズで年1回お届けしています。「しながわ歌留多」からピックアップし※の『て』の文字札は、『天王洲 仲間と一緒に 草野球』から天王洲をとりあげました。近年はオフィスビルや高層マンションが立ち並び、ドラマやコマーシャルのロケ地としても使われる人気のエリアです。今回はそれだけではない表情豊かな天王洲を皆さんに紹介します。



※(株) スラップショット制作

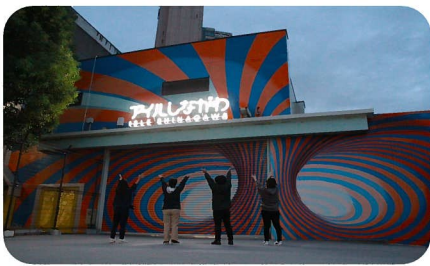
江戸後期から海運の拠点として、幕末には第四台場として役割を果たしてきました。一九八五年「天王洲総合開発協議会」の発足により「人間の知性と創造性に働きかける環境づくり」をコンセプトに新たな開発がすすめられました。また、このカルタの絵にある天王洲公園は、四季折々の草花が楽しめる、特に春は桜が



編集委員が現地取材に行ってきました

天王洲は、品川の臨海部にあり、昔この地が埋め立てられる前、神仏習合の神である牛頭天王が漁師に引き上げられたとされる地であるいわれから「天王洲」と呼ばれるようになった。

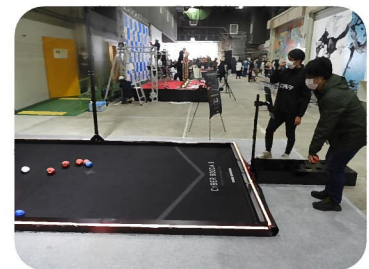
そして十月十日(月)にグランドオープンした「アイルしながわ」をご存じですか？ パラスポーツやアート活動を通じ多様な人たちが集える場所、共



「アイル品川」にやってきましたー！

とても綺麗な場所です。かつて当法人の職員有志数人から始まったソフトボール同好会も、活動の拠点をナイター設備のある天王洲の野球場などで汗を流していました。隣接している東品川海上公園は別名ミッフィー公園とも言われており、ミッフィーの愛らしい姿をあちこち見つけることが出来ます。この公園も桜が見事で、歩きやすく、八潮在宅サービスセンターの利用者にも好評で何回かお花見の散策をしていました。

生社会の実現に向けて取り組みやアーティースト活動の場所として品川の賑わいを創出する施設です。ブラインドサッカーや車いすスポーツ、アート活動や地域のイベントにも活用され、実際にプレオープンで、編集委員もサイバーボッチャーを体験してきました。いつものボッチャーも楽しいですが、こちらにもまた違った楽しさがあります。また、休日にはキッチンカーの出店やアートワークショップで手話をモチーフにした作品作りなどのイベントもあります。歳月が経っても様々な顔をみせて私たちを楽しませてくれる天王洲。みなさんも足を延ばしてぜひ楽しんでください。



最先端の機器に触れとてもワクワクしました



「7月7月生まれの子のお誕生日会」をコンセプトにしたバイキングメニュー

八潮北保育園の給食を担当して下さっているソシオフードサービス株式会社が令和四年八月「第14回治療食等献立・調理技術コンテスト」に初めて出場し、行食部門で最高位の「厚生労働省医政局長賞」を受賞されました。おめでとうございます。

調理のチーフをされている高橋佳吾さんを含む四名のスタッフで挑戦。二時間以内に、指示された栄養量や食材費を

八潮北保育園の給食担当 ソシオフードサービス
厚生労働省医政局長賞 受賞



左から細根園長、和田様、丸山様、永田理事長

満たす食事を調理し、盛り付けから片付けのプレゼンテーションを行いました。

子供たちが野菜に親しめるよう動物や星の型抜きなどで、美味しさだけでなく楽しさを演出したメニューを考案したそうです。

日頃から、高橋さんは子ども達にも大人気で、見つけると「佳吾先生！」と喜んで走っていきます。保育園行事にも顔を出してくれ、温かく見守ってくれています。これからも心躍る給食をよろしくお願いいたします。

リーダー会班活動⑤ 働き方改革アピール班

品川総合福祉センターには、「リーダー会」というリーダーによる月に一回の会議があります。

現在は六班に分かれ、それぞれの活動を行いながら法人の事業向上のため奮闘しています。

このコーナーでは、六回にわたって班の活動をご紹介します。

活動班の一つの「働き方改革アピール班」は、今年度新設された班です。

法人の中期経営計画を推進していくために三つの部会（収支部会、人権部会、人材部会）があるのですが、人材部会で検討されている「働き方改革の基本方針」について、より具体的に検討し、スピーディーに実施につなげる役割も担っています。

法人が一丸となって職場環境の整備、業務改善を図り、より働きやすい職場づくりを目指しています。

時間外労働の改善、賃金格差の是正、有給休暇の取得方法など、本当に様々な課題があります。

その中でも、優先順位の高い課題は何か？より多くの職員が改善を実感できるような課題は何か？といったテーマで話し合いを重ねています。

その提言や現場における状況や問題点を討議していくためにより現場の職員に近い立場のリーダーたちが考えることで、より現場に沿った話し合いができていますと自負しています。

働き方改革アピール班に乞うご期待！



会議もオンラインで改革

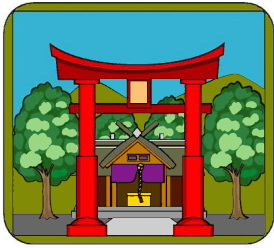
初詣の由来

初詣とは、その年はじめて神社仏閣へ参り、新しい一年の無病息災や安寧を祈ることです。「初詣」とされる時期は、お正月の三が日を中心、地域によっては松の内と言われる一月七日（関西圏は十五日）の期間と考えるのが一般的だそうです。

豆知識

しかし、時代の流れとともに更に簡略化され、元日のお参りだけが残っていきましました。交通網が発達した大正時代からは、氏神様にこだわらず好きなお寺や神社にお参りする形に変化したそうです。さらにお詣りの時間も、大晦日の深夜参拝する二年詣りといひ、お詣りの仕方も多種多様になっていきました。

元旦にかけて氏神様のいる社に籠り、旧年を感謝し新年の家内安全や豊作を夜



通し祈願するということだったそうです。その後は少しずつ形を変え、大晦日の夜にお参りをする「除夜詣」と、元旦の朝にお参りをする「元日詣」の二つに分かれるようになりました。

これから大寒を迎え、ますます寒さが厳しくなっていますが、新しい年に気持ちを一新して、一年を健やかに過ごしましょう。

しなふくの窓

大井在宅サービスタワーでは、玄関先にある水槽でメダカを飼育しています。メダカが好きな職員が個人的な趣味を活かして数年前から飼いはじめたのがきっかけです。当初は数匹しかいなかったものがしだいに増え、現在では水槽が三つもあり百匹近くに

メダカたちが泳ぐ姿がともかわいらしく、ご利用者の皆様からも大好評。最近では、近隣の保育園の園児たちのお散歩コースにもなっていて、メダカたちの成長を見て「大きくなってる！」と観察を楽しんでいます。メダカたちのおかげで素敵な交流の場になりました。



まさにめだかの学校

車いす寄贈のお礼

株式会社日本製鋼所労働組合様より、車いす二台のご寄付をいただきました。これまでの大型電気製品のご寄付に続き、四回目のご厚志を頂き、本当に感謝しております。お礼ま



左から古賀様、菊地様、向井様 理事長、常務、濱本施設長

二〇二三年版かもめ園カレンダー完成！販売中

かもめ園のご利用者の傑作作品をまとめました。大井町イトーヨーカ堂「テルベ」でも販売中です。ご購入希望の方はメールアドレスにご連絡ください。



kamome1@shinafuku.org
ご注文お待ちしております
(1冊1000円です)